

医労連速報2014秋闘

2014年11月6日 NO. 6 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

全国統一行動

各地で抗議のストライキ

6日統一行動ストライキを含む全国200組合が決起!

本日の全国統一行動では200を超える組合で行動が予定されており、不誠実な回答に対しては抗議のストライキも決行されました。

東京民医労健生会支部

深夜に及ぶ団交、250人が早朝全面スト突入

東京民医労健生会支部は回答指定日団交に零時過ぎまで60名超が参加、スト回避をかけて改善要求をしましたが決裂、始業時1時間全面ストに突入、約250名が参加しました。

日本医労連中野執行委員長、東京医労連青山書記長、議長をだしている



立川労連から副議長が激励と連帯にかけつけました。 健生会支部は昨年同の1.68ヵ月の回答ですが、一昨年の秋闘で引き下げられた分を働き続けられる最低条件として確保することを要求しています。この間も経営者と協議し、「改善したい」との回答を引き出していました。あと0.05ヵ月、原資は1500万円です。上半期の看護師の退職は24名と昨年同期と比べ倍加しており、医療を守るためにも職員の奮闘に応える回答前進をと意思統一、次回11月21日に交渉の山場です。

統一行動のニュースと写真を日本医労連にお寄せください。

全日赤医療センター第1労組

玄関前宣伝行動・始業前1時間ストライキ

全日赤医療センター第1労組は、全日赤本部による2014年度の賃上げ・一時金交渉の結果を受けて、始業時1時間のストを決行しました。ストライキに入る前の1時間、病院前での宣伝署名行動も行い、署名も20筆を集約しました。ストライキは高橋執行委員長の団結ガンバローを皮切りに、



日本医労連から三浦書記長・内田中執、東京医労連から斉藤書記次長、全日赤本部から河野書記次長が挨拶・情勢報告を行いました。また、坂本書記長から独自要求に対する病院側からの回答報告、各職場状況の報告が行われました。最後に高橋執行委員長から、賃金・増員の要求実現と組織拡大の取り組みを進みようと提起が行われ、参加者の拍手でストライキを締めました。



全日赤さいたま

「人勸を理由に賃下げは許さない！」



全日赤さいたまでは、年末一時金2.15ヵ月（昨年比+0.15ヶ月）の回答で昨年実績を上回ったもの、「人勸に準拠し来年4月からの月例賃金で賃金抑制を本社は全日赤本社に回答している」中、「少しの賃上げの後に大きな賃下げは許さない」と病院玄関前に35名が集まり1時間のストライキを決行しました。まず初めに大崎執行委員長が挨拶。「賃上げを行え！サービス残業なくせ！

私たち職員を大切にしろ！患者の医療を守れ！」と元気よくシュプレヒコールを響かせました。その後、場所を講堂に移し支援に駆けつけた日本医労連鎌倉副委員長が全国の状況や、賃金、医療介護総合法、戦争できる国づくりなどの情勢を交え挨拶を行ない、続いて全日赤本部山口早苗中央執行委員からこの間の本部交渉の経過報告がされ、宮本まき子書記長が昨日行われた団交の様子を報告し引き続いての「職員・職員家族署名」の取り組み、「経営者を動かすためには、組織拡大が必要だ」と強調しました。

